

教宣・学習制度化分科会

議長…高木 一(日野)
肥野 信彦(練馬)
書記…友成 京介(練馬)

情報戦略に質問集中

新任だけではなく規約学習を



機関紙賞の表彰を受ける西多摩支部の西川部長(右)

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者12人の合計40人でした。教育宣伝の提案については、情報戦略に関する内容に質問が集中しました。小平東村山支部から「YouTubeで500人を超える」とコミュニティ機能が使えるとあるが、これをどうにかしていくのか、練馬支部から「フェイスブックの有料広告とはどのようなものか、有用な情報を組合員へ届けると書いてあるが、どの程度なのか」、台東支部からは「宣伝用キャラクターの作成とあるのは組織の公式キャラクターなのか」など、具体的に突っ込んだ質問が出されました。これらについてはそれぞれ

仕事対策分科会

議長：秋元 正真(世田谷)
〃：大平 洋二(大田)
書記：瀬戸 貴大(大田)



都の省エネ・再エネ住宅推進事業の積極活用について質問する杉並支部の代議員

参加者は代議員27人、代議員以外の参加者18人の合計45人でした。

はじめに、本部役員を代表して小番書記長、続いて後藤仕事対策部長よりあいさつをいただきました。

そして後藤部長より2023年度方針を中心に「職域・仕事対策行動目標策定委員会での議論を具体化」「地域諸団体と連携をした防災対策活動の再開」「仕事対策上の相談対応」等について提案がなされました。さらに、議案を

参加者は代議員27人、代議員以外の参加者18人の合計45人でした。

はじめに、本部役員を代表して小番書記長、続いて後藤仕事対策部長よりあいさつをいただきました。

そして後藤部長より2023年度方針を中心に「職域・仕事対策行動目標策定委員会での議論を具体化」「地域諸団体と連携をした防災対策活動の再開」「仕事対策上の相談対応」等について提案がなされました。さらに、議案を

参加者は代議員27人、代議員以外の参加者18人の合計45人でした。

はじめに、本部役員を代表して小番書記長、続いて後藤仕事対策部長よりあいさつをいただきました。

そして後藤部長より2023年度方針を中心に「職域・仕事対策行動目標策定委員会での議論を具体化」「地域諸団体と連携をした防災対策活動の再開」「仕事対策上の相談対応」等について提案がなされました。さらに、議案を

賃金対策分科会

議長…藤川 善晴(墨田)
〃…安齋 敦(中野)
書記…菊池 亮(中野)

機会逃さず賃上げ訴え

レベル判定の団体増を要請



拍手で賃金対策部の議案を承認

参加者は代議員27人、代議員以外の参加者18人の合計45人でした。

小坂賃金対策部長、松本副委員長のあいさつ後、小坂部長より議案提案、PAL坂本会長の訴えの後、質疑応答。

最初に、事前質問「賃金引き上げのツールとしてのCCUSの活用」について、職種別会合を他の職種にも広げ、組合が求める職種別賃金と、専門工業者団体の賃金目安を突き合わせる協議・交渉を通じ、労働協約を展覧」と回

参加者は代議員27人、代議員以外の参加者18人の合計45人でした。

小坂賃金対策部長、松本副委員長のあいさつ後、小坂部長より議案提案、PAL坂本会長の訴えの後、質疑応答。

最初に、事前質問「賃金引き上げのツールとしてのCCUSの活用」について、職種別会合を他の職種にも広げ、組合が求める職種別賃金と、専門工業者団体の賃金目安を突き合わせる協議・交渉を通じ、労働協約を展覧」と回

参加者は代議員27人、代議員以外の参加者18人の合計45人でした。

小坂賃金対策部長、松本副委員長のあいさつ後、小坂部長より議案提案、PAL坂本会長の訴えの後、質疑応答。

最初に、事前質問「賃金引き上げのツールとしてのCCUSの活用」について、職種別会合を他の職種にも広げ、組合が求める職種別賃金と、専門工業者団体の賃金目安を突き合わせる協議・交渉を通じ、労働協約を展覧」と回

参加者は代議員27人、代議員以外の参加者18人の合計45人でした。

小坂賃金対策部長、松本副委員長のあいさつ後、小坂部長より議案提案、PAL坂本会長の訴えの後、質疑応答。

最初に、事前質問「賃金引き上げのツールとしてのCCUSの活用」について、職種別会合を他の職種にも広げ、組合が求める職種別賃金と、専門工業者団体の賃金目安を突き合わせる協議・交渉を通じ、労働協約を展覧」と回

参加者は代議員27人、代議員以外の参加者18人の合計45人でした。

小坂賃金対策部長、松本副委員長のあいさつ後、小坂部長より議案提案、PAL坂本会長の訴えの後、質疑応答。

最初に、事前質問「賃金引き上げのツールとしてのCCUSの活用」について、職種別会合を他の職種にも広げ、組合が求める職種別賃金と、専門工業者団体の賃金目安を突き合わせる協議・交渉を通じ、労働協約を展覧」と回

コロナ禍での経験交流

仕事確保に向け学習会を

都連・全建総連を通して国交省と交渉していく旨の説明を受けました。

杉並支部からは、東京都省エネ・再エネ住宅推進プラッ

なされました。教育宣伝および学習制度化の議案が一括して採択された後、表彰式が行われました。まず、日程の都合により全体

会で行なわれる予定だった機関紙賞の表彰があり、2022年度の東京土建機関紙コンクールで西多摩支部「絆杉」が最高賞である機関紙賞受賞

を称えられました。続いて、2022年1月から12月の間で100号ごとの節目を迎えた分会、青年部、シニア友の会、主婦の会の機

関紙を対象に、練馬支部桜台分会「みちくさ」(500号)をはじめとする9紙が永年発行機関紙の表彰を受けた後、閉会となりました。

公契約条例だが、足立区では熟練工の評価基準がなく、とすると未熟練工の単価で積算されかねない。情勢的に、大手セネコンはここが賃金上げするか様子見。賃上げのチャンスだ」に、「レベル判定の団体をふやすよう国交省、専門工業者団体に訴えていく。実効性ある条例に向けて、事業者団体・行政との懇談を求めて、審議会で議論できるような運動を進める。賃上げの機会を逃さず、賃金対策部とPALの運動を発展させよう」と答弁。また、松本副委員長が自身の経験(技能者レベルにに応じて人工、経費を出し、そのデータに基づき上位企業に請求、その金額を獲得)を報告し、請求・要求していく」と訴えました。

新年度方針賃金引き上げ、労働協約、公契約条例、PAL運動強化、外国人労働者、ジェンダー平等、不払い対策、建退共、働き方改革などの学習を含む議案の承認を受け、団結カンパローで分科会は終了しました。

また、2つの支部から2022年度の住宅デー報告や、支部活動報告がありました。板橋支部からは、12月に区と防災協定締結した経過の報告。品川支部からは、災害訓練についての報告・来年度住宅デーの動向・災害についての学習会を行なった報告をいただきました。

最後に後藤部長より討論のまとめの後、2022年度総括・2023年度方針及び大会スローガンを採択し、分科会を終了しました。